

教科 国語

科目 論理国語（普通科）

授業家屋	論理国語	単位数	3 単位	履修形態	必修
履修学年	高校3年普通科	コース			
教科書	論理国語	副教材	学習課題ノート・語彙漢		
授業概要	主体的・対話的で深い学びを通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めることができる。				
授業内容 および 到達目標		単元	目標	備考	
	1 学期	思考の枠組み	実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取る。記憶や学習におけるスキーマのはたらきを理解し、者の見方を広げる。エピソードや具体例の役割に注意し、本文と図版を関係受けながら読む。	デジタル地図から見える世界	
		日本語を考える	漢字の特色及び、日本語における漢字のはたらきを知る	漢字の性格 漢字検定	
		小説	様々な時代や社会を読み取り、人の生き方や社会との関わり方について考えるきっかけとする	神去な あなあ日常他	
		自己と他者	筆者の論の展開の特徴を読み取る	人はなぜ贈り物をするのか	
	2 学期	コミュニケーションの手段	対比的な概念を捉え、筆者の主張をつかむ。コミュニケーションの手段とその特徴について考えを深める	記号的メディアと物理的メディア	
		名作を読む	登場人物の生き方から自分の生き方の考えを深める。優れた表現を味わう。	こころ	
		メディアの変容	具体例と筆者の主張との関係を的確に捉える。	ポスト真実時代のジャーナリズムの役割	
		言語の探究	根拠に注目しながら、筆者の主張を読み取る。日本語の特徴について考える。	人を指す言葉 自称・対称・他称	
		共通テスト対策	過去問題を解くことで、入試までの学習計画を立てる	模試	
		政治と経済	筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する	多数決を疑う	
	3 学期	環境へのまなざし	概念の定義を押さえ、筆者の問題意識を捉える。現代社会が直面する様々な課題を意識し、問いを深める	リスク社会としての現代 大学共通テスト	

教 科 国 語 科 目 古 典 探 究

授業科目	古典探究		単位数	2単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校3年 普通科		コース			
教科書	古典探究 古文編 漢文編 (大修館)		副教材	教科書準拠ワーク スタディーサポート活用ブック 解析古典文法 (桐原) 漢文入門 (浜島書大 学共通テスト過去問題		
授業概要	<p>1 生涯にわたる社会生活に必要な知識や技能を身につけるとともに、日本の伝統的な言語文化に対する理解を深める</p> <p>2 先人たちのものの見方、感じ方、考え方を知り、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることによって、人生を豊かにする態度を養う。</p> <p>3 生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	故事成語	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むための語句の量をふやす		古典探究	
		歴史物語	人物描写などを味わい、作品を取り巻く時代の背景、文化的環境を知る。		解析古典文法	
		史伝	漢文の読解に慣れ、歴史物語の面白さを味わう 様々な人物像を通して、人間の生き方について考えを深める		スタディーサポート 漢文入門	
	2 学 期	日記	登場人物の行動や場面の展開、和歌に現れた心情を読み取る		古典探究	
・土佐日記 ・蜻蛉日記 ・紫式部日記 随筆・歌論 ・方丈記 ・風姿花伝 故事・成語 ・三国志		関連する他の作品との関係を踏まえて、内容の理解を深める。 日本人と日記について考察する 幽玄という日本独自の感覚を知る 古典と芸能の繋がりについて関心を広める 三国志から生まれた成句や故事成語を理解し、言語感覚を豊かにする		解析古典文法 進研模試		
3 学 期	旅絵の想い	作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する		百人一首大会		
	・奥の細道 ・土佐日記 物語の広がり ・平家物語	歴史的な文体の変化について理解を深める 作品に描かれた登場人物の心情や生き方を通して、自分の生き方や考え方を考える		「古典探究」 教科書		
	入試対策	大学京津テスト受験に向けて、知識の確認		共通テスト かも問題		

教科

国語

科目

小論文とプレゼンテーション

授業科目	小論文とプレゼンテーション		単位数	2単位	履修形態	必須・選択
履修学年	孤高3年 普通科		コース			
教科書	論理国語 (大修館)	副教材	教科書準拠ワーク 志望理由書・自己PR完成ノート (第一学習社) その他 大学共通テスト過去問題			
授業概要	<p>1, 国語を適切に表現し、適切に理解する能力と自らの考えを論理的に説明する能力の向上</p> <p>2, 入試小論文や総合問題の対策を通して、思考力・判断力・表現力を高める</p> <p>3, 現代の社会問題に対して問題意識を持ち、現状と問題点を説明でき、自分なりの考えを、根拠を持って</p>					
授業内容及び達成目標		単元	目標		教材	
	1学期	自己PR文 探究読書 志望理由書	自分の強みを把握し、効果的にアピールする。 図書室にて、自分の関心のある文章を読み、クリティカルシンキングの方法を学ぶ 自暴理由書の異議と書き方を学び、自分の進路の方向性を定める		志望理由書・自己PR完成ノート 探究型読書	
	2学期	入試問題演習 志望理由書・学習計画書 面接対策 三冊棚・エア新書	入試問題 (現代文) を読み、要約することで、現代社会の課題を整理する。 グラフや表の見方、分析の方法を学ぶ 大学での学習計画を練る 進路 (探究学習) のテーマの本の3冊パッケージを作り、課題を深掘りをする 3冊を推薦する棚を図書室に作る		大学共通テスト過去問題 面接練習	
	3学期	探究論文仕上げ 入試問題記述対策	問題の意図を読み取り、的確に答える演習をする (一般入試受験者) 探究学習の論文を仕上げる (推薦入試合格者)		大学共通テスト過去問題	

令和7年度 日本史探究シラス

教科：社会科 科目：日本史探究 単位数：4

学年：普通科高校3年 教科書：山川出版 「日本史探究」

月	授業時数	授業時	章・節	学習内容とねらい
第I部 原始・古代				
4月	4	1 2	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり	①人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ②打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。
		3 4	2 農耕社会の成立	①大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。 ②集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連づけて考察する。 ③原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現する。
	2	5	歴史資料と原始・古代の展望 ①古代社会と海外との交流	①中国の歴史書の記事をもとに、日本列島の倭の小国やヤマト政権(倭国)と中国・朝鮮半島の諸国との交流について、多面的・多角的に考察する。 ②古代の対外交流がヤマト政権や律令国家の展開に向かってどのように変化していったか、仮説を表現して展望する。
		6	②木簡から古代国家を探る	①遺跡から出土した木簡の記載内容をもとに、文書主義を特徴とする律令制のもとで人・物・情報がどのように移動していたのか、多面的・多角的に考察する。 ②古代の中央・地方をめぐる物流や地方における文字文化の広がりについて、仮説を表現して展望する。
5月	4	7 8	第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開	①地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 ②ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ③古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。
		9 10	2 飛鳥の朝廷	①ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 ②飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解する。
	6	11 12	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道	①律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。 ②律令にもとづく国内統治体制について理解する。

月	授業時数	授業時	章・節	学習内容とねらい
5月	6	13 14	2 平城京の時代	①律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 ②平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。
		15	3 律令国家の文化	①律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。 ②天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。
		16	4 律令国家の変容	①平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 ②東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。
	4	17	第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治	①藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ②日本と東アジアとの関係において、民間の貿易や交流が中心となったことをとらえる。
		18	2 国風文化	①大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。 ②摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるかを考察する。
	6月		19 20	3 地方政治の展開と武士
第Ⅱ部 中世				
6月	3	21	第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり	①院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ②外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革を進めた背景を考察する。
		22 23	2 院政と平氏政権	①政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 ②古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。
	2	24 25	歴史資料と中世の展望 絵画から中世社会を探る	①政治や文化の中心であった中世の京都を描いた絵画作品から、情報を収集して読み取る技能を身につける。 ②資料から適切に読み取った情報をもとに、中世の特色についての仮説を表現して展望する。
	6	26	第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立	①鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ②鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。
		27 28	2 武士の社会	①承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。 ②武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。

月	授業時数	授業時	章・節	学習内容とねらい
7月	6	29 30	3 モンゴル襲来と幕府の衰退	①モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。 ②非御家人に対する権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透したことの意義を考察する。
		31	4 鎌倉文化	①庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 ②伝統的な公家文化の世界で、有職故実・古典研究などの学問が進展した背景を考察する。
	8	32 33	第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立	①南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ②琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。
		34 35	2 幕府の衰退と庶民の台頭	①庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ②諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。
9月	36 37	3 室町文化	①武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。 ②庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。	
		38 39	4 戦国大名の登場	①応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。
第Ⅲ部 近世				
9月	3	40 41	第8章 近世の幕開け 1 織豊政権	①大航海時代と呼ばれる世界的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ②織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。
		42	2 桃山文化	①新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 ②中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。
	2	43 44	歴史資料と近世の展望 生類憐みの令からみる江戸時代の社会の変化	①生類憐みの令として知られる一連の法令から、情報を収集して読み取る技能を身につける。 ②資料から適切に読み取った情報をもとに、近世の特色についての仮説を表現して展望する。
10月	11	45 46 47	第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立	①江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。 ②江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。
		48 49	2 幕藩社会の構造	①幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 ②被支配身分の特質や、周縁部分に生きる人々の社会的役割について理解する。

月	授業時数	授業時	章・節	学習内容とねらい
10月	11	50 51	3 幕政の安定	①17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ②諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。
		52 53	4 経済の発展	①幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 ②全国市場の確立や都市の発達で商品流通が拡大し、各地で風土に応じた特産物が生まれたことを理解する。
		54 55	5 元禄文化	①経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。 ②儒学の特色を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。
11月	8	56 57	第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革	①農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。 ②幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態について理解する。
		58 59	2 宝暦・天明期の文化	①江戸中期に確立した洋学や国学、新たなかたちで展開する文学・芸能・美術について、社会の変容にともなう幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 ②幕府や藩による武士の教育に加え、民間でも私塾や寺子屋が開かれた背景について理解する。
		60 61	3 幕府の衰退と近代への道	①欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。 ②近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。
		62 63	4 化政文化	①化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 ②都市の民衆を中心とする芸能などが盛んになったことを理解する。
第Ⅳ部 近代・現代				
11月	3	64 65	第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱	①国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ②江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。
		66	2 幕府の滅亡と新政府の発足	①幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。 ②近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。
12月	2	67	歴史資料と近代・現代の展望 ①五箇条の誓文と国是	①五箇条の誓文のあつかわれ方について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につける。 ②諸資料から適切に読み取った情報をもとに、近代・現代の歴史について仮説を表現して展望する。
		68	②貿易の変遷からみる日本の近代・現代	①日本の近代・現代における輸出入品の推移から、情報を収集して読み取る技能を身につける。 ②諸資料から適切に読み取った情報をもとに、近現代の日本の産業の在り方や課題について仮説を表現して展望する。

月	授業時数	授業時	章・節	学習内容とねらい
12月	5	69 70 71	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵	①明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。 ②欧米文化・思想の導入と近代化政策に対する土族反乱・農民一揆の発生と、言論闘争への転換を理解する。 ③明治初期の対外政策について、欧米への対応とアジアに対する外交政策の違いについて考察する。
		72 73	2 立憲国家の成立	①政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ②大日本帝国憲法の性格について具体的・多角的に理解する。
	6	74 75	第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係	①東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 ②開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。
		76 77	2 第一次世界大戦と日本	①第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。 ②第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。
1月	6	78 79	3 ワシントン体制	①ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。 ②民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。
		80 81	第14章 近代の産業と生活 1 近代産業の発展	①日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基盤が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 ②近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。
	82 83	2 近代文化の発達	①伝統的な文化のうに欧米文化を摂取するなど二元性をもって成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 ②義務教育の普及・定着とともに、国家主義的教育が浸透していくことを理解する。	
	84 85	3 市民生活の変容と大衆文化	①労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。 ②大衆文化の前提となる教育の普及・発展、マスメディアの発達について理解する。	
2月	7	86 87	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代	①戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ②社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。
		88 89 90	2 軍部の台頭	①日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。 ②恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。

教 科 数 学

科 目 数 学 C

授業科目	数学 C	単位数	3 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	3 年	コース	普通科		
教科書	数研出版 数学 I ・ 数学 A ・ 数学 II ・ 数学 B	副教 材	CONNECT 数学 II + B 共通テスト対策問題集		
授業概要	数学共通ゼミでは，数学 II と並行履修となります。通常の授業では扱いづらい模試の問題や応用問題を含め，数学的な物の見方考え方を鍛えるを試みます。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教材	
	1 学期	平面ベクトル	①ベクトルという向きと大きさで定まる量について理解する。座標平面上におけるベクトルの成分についても理解を深める。 ②ベクトルの演算に対する理解を深め計算することができる。 ③内積の意味と性質を理解する。 ④位置ベクトルという考えを理解し，様々な図形をベクトルを用いて表すことができる。		プリント
		空間ベクトル	①空間における座標の考え方について理解し，空間におけるベクトルを理解する。 ②平面におけるベクトルとの関連性を理解し，これまでの計算を応用できる。		プリント
	2 学期	共通テスト対策	単元ごとのに入試形式の問題に触れ，実践的な数学力を身に着ける。		共通テスト 対策問題集
		共通テスト対策	入試に必要な単元の学力の定着だけではなく，時間配分なども意識した入試力を身に付ける。		共通テスト 対策問題集
3 学期	共通テスト対策	入試に必要な単元の学力の定着だけではなく，時間配分なども意識した入試力を身に付ける。		共通テスト 対策問題集	

令和8年度 年間学習計画

科目名[数学基礎(3単位)]

担当学級[高校3年I組(普通科)]

担当者[谷下智浩]

印

使用テキスト なし

使用問題集 [CONNECT数学I+A(数研出版)], 他

月	時間	単元	配当時間	指導の要点	備考	
4	6	数I 第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 [単元テスト]		各自で問題集のB問題を学習, 進捗状況を確認 各節の終了ごとに報告, 点検 約5時間の学習後、単元テストを実施 不合格者は授業時間内で再試		
5	6	第3節 1次不等式 第2章 集合と命題 [単元テスト]			[中間試験]	
5	3	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ				
6	11	第2節 2次関数の値の変化 [単元テスト] 第3節 2次方程式と2次不等式				
7	3	第1節 三角比 [単元テスト] 第2節 三角形への応用 第5章 データの分析 [単元テスト]				[期末試験]
9	10	数A 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率 [単元テスト]				
10	3	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形 [単元テスト] 第3章 数学と人間の活動 [単元テスト]				[中間試験]
10	6	未定(共通テスト対策問題集を購入, 実施の予定)				
11	7				[期末試験]	
11	1			大学入試共通テスト前に授業終了		
12	7					
1	4					[学年末試験]
2						
3						

宿題について……なし。授業内で自学自習の進捗状況を確認。(主体的な態度)

定期試験について……なし。授業内で確認テストを実施。(知識・技能&思考力・判断力・表現力)
不合格者には再試も予定。

教 科 理 科 科 目 化 学

授業科目	化学	単位数	4 単位	履修形態	選択
履修学年	3 年	コース	普通科		
教科書	数研出版 化学基礎		副教材	第一学習社 セミナーノート化学	
授業概要	化学的な事物・現象に関する基礎的な知識及び基本的な概念や原理・法則を系統的に学習します。学んだ概念や原理・法則を新しい事象の解釈に応用したり、物質の変化の結果を予測したりすることも行います。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	物質の状態 物質の変化	固体の構造や物質の状態変化、気体の状態方程式について理解する。 物質の単体の変化とエネルギーの関係について理解する。	固体 気体 溶液 熱運動 電池 化学平衡	
	2 学 期	無機物質 有機化合物	非金属元素、典型金属元素、遷移金属元素の性質や人間生活での利用法について理解する。有機化合物の分類や製法、用途について理解する。	非金属元素 金属元素 炭化水素 芳香族化合物	
	3 学 期	高分子化合物	高分子化合物の構造と性質について理解する。天然高分子化合物と合成高分子化合物の構造や性質について理解する。	天然高分子化合物 合成高分子化合物	

教科 保健体育

科目 体育

授業科目	体育	単位数	3単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校3年	コース	普通科		
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任などに対する意欲を高め、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことができるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3泳法の個々の能力に 合った目標タイムを設定し記録向上に向けた練習 を進める。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートの技術向上を図り、よ り高度な試合展開ができるようにする。		
	2 学 期	ダンス	創作の質を高め、ダンスの技術の向上と自己表現 の楽しさを味わう。		
		器械運動	柔軟性を高め、多様な技を組み合わせた演技をし、 成功した時の喜びを味わう。		
		体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるように する。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
	3 学 期	サッカー	チームでの連携を図り、より高度な試合展開がで きるようにする。		
武道		相手の動きの変化に応じて、多様な技への連絡を 用いて高度な試合展開ができるようにする。			

教科 音楽

授業科目	音楽	履修学年	高校3年	
教科書	高校音楽1 教育芸術社			
授業概要	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに音楽表現に必要な技能を身に付ける。			
授業内容 および 到達目標	単元	目標	教材	
1 学 期	曲想と音楽の構造との関わりを理解して合唱しよう。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容を理解し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	校歌	
	音楽の共通言語を覚えよう。	音楽を体系的に理解し、音楽表現の方法を学ぶ。	音楽通論	
	2 学 期	ギターの音色や響きを知り、演奏してみよう。	ギターの奏法を理解し、それを生かした曲にふさわしい器楽表現を身に付ける。	ギター
		和楽器の音色や響きを知り、演奏してみよう。	篠笛の奏法を理解し、それを生かした曲にふさわしい器楽表現を身に付ける。	篠笛
	3 学 期	音色や音の重なり方の特徴を理解しアンサンブルを楽しもう。	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。全体の響きや各部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する。	アンサンブル

教科 美術

授業科目	美術		単位数	1単位	履修形態	必修・選択○
履修学年	高校3年		コース	ICT科 普通科		
教科書	光村図書 美術1			副教材		
授業概要	高校3年生では、日常で活かせる美術を高める鑑賞力や作品作りをしていきます。					
授業内容 および 到達目標	前期	単元	目 標		教 材	
		①美術概論	①1年間の美術の流れを知る。			
		②木彫時計 (彫刻 デザイン)	①創造性のあるデザインを考える。 ②彫刻刀と木の特徴を活かしながら丁寧に彫る。		木彫時計 彫刻刀	
	③木彫時計 色付け (デザイン 構成)	①アクリル絵の具で色付けをする。 ②丁寧に制作し完成度を高める。		アクリル絵の具 ニス		
	後期	②漆箸 (工芸 鑑賞)	①和柄模様のデザインを考える。 ②漆の特性を知り日本の伝統に触れる。 ③クラスの作品を鑑賞し作品の良さを味わう。		漆箸 色漆 筆	
		④静物デッサン (素描 構成)	①物をよく観察し、描写技能を育てる。 ②形や陰影を意識する。		スケッチブック 鉛筆	
		⑤藍染 (工芸)	①藍の特性を知り日本の伝統に触れる。 ②クラスの作品を鑑賞し作品の良さを味わう。		藍染 ハンカチ	

教科 芸術

科目 書道

授業科目	書道 I	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年	コース	全コース		
教科書	東京書籍書道 I	副教材			
授業概要	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	漢字の書 草書	<ul style="list-style-type: none"> ・草書が成立する過程や草書の特徴について理解する。 ・「真草千字文」を鑑賞し、その美について理解する。 ・「真草千字文」の臨書を通して、草書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。 		草書の特徴 「真草千字文」
		漢字の書 隸書	<ul style="list-style-type: none"> ・隸書が成立する過程や隸書の特徴について理解する。 ・「曹全碑」を鑑賞し、その美について理解する。 ・「曹全碑」の臨書を通して、隸書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。 		隸書の特徴 「曹全碑」
		漢字の書 篆書	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書が成立する過程や篆書の特徴について理解する。 ・「泰山刻石」を鑑賞し、その美について理解する。 ・「泰山刻石」の臨書を通して、篆書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。 		篆書の特徴 コラム：始皇帝と文字 「泰山刻石」
	2 学 期	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立と変遷について理解する。 		仮名の成立
			<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の用具・用材の特徴について理解する。 ・仮名の基本的な線について理解し、練習する。 ・平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。 ・変体仮名について理解し、練習する。 ・連綿について理解し、練習する 		仮名を書く準備 平仮名の単体 変体仮名 連綿
		漢字仮名交じり書 創作	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、意図に基づいて創作し、相互評価をする。 ・近現代の作品を鑑賞する。 		創作 言葉と書を調和させよう 鑑賞 書の美や風趣を味わおう
	3 学 期	実用書 生活に広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・便箋や封筒の宛名、履歴書など、改まった場面で使われる書式について理解し、場面に応じて書く。 ・はがきやカードなど、身近な場面で気持ちを伝えるために書くものについて理解し、自分たちの創意を生かして書く。 ・街中や身近な生活の中で生かされている書を探し、自分たちの生活でどのように生かすことができるかについて考える。 ・著作権について理解する。 		生活に広げる コラム：著作権

シラバス案

対象教科・科目	単位数	学年・学級
外国語科・コミュニケーション英語Ⅱ	4	

1 学習の到達目標等

科目の目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。</p> <p>具体的な言語活動は以下の通り。</p> <p>ア. 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p>
使用教科書・副教材等	Revised ELEMENT English Communication II (コ II 337), ワークブック, 予習ノート

2 コミュニケーション英語Ⅱの評価の観点、規準及び評価方法

	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
観 点	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
規 準	「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	情報や考えなどについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 情報や考えなどについて、英語で簡潔に書くことができる。	英語を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。	英語の仕組み、使われていることばの意味や働きなどを理解するとともに、言語の背景にある文化を理解している。
評価 方法	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査			

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	考查範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
1 学期	4	中間 考査	Reading Skill 1~5	リーディングスキルについて理解し、文章の構成を考えながら、概要や要点をとらえることができる。	○		○	○	a d
			Lesson 1 Beyond Words	<p><題材内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非音声的言語とは何かを理解する。 ・非音声的言語の種類を理解する。 ・非音声的言語が文化によって異なることを理解する。 ・文化によって異なる非音声的言語について書く。 <p><文法事項></p> <p>助動詞+完了形, 受動態の動名詞, 付帯状況を表す with AB について理解する。</p>	○	○	○	○	

学期	月	考查範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法	
					①	②	③	④		
1 学期	5	中間 考查	Communication Tip 1	コミュニケーションにおいて重要なスキルを身につけ、活用することができる。	○	○	○	○	a b	
			Lesson 2 Stay Hungry, Stay Foolish	<題材内容> ・ジョブズが大学を辞めて得た教訓を理解する。 ・ジョブズが会社を解雇されて得た教訓を理解する。 ・ジョブズが病気になるって得た教訓を理解する。 ・新しい携帯音楽プレイヤーを購入するとき何を基準に選ぶかについて書く。 <文法事項> 複合関係詞, S+V (be動詞)+C (that節), be動詞+to不定詞について理解する。	○		○	○	a b c d	
			Communication Tip 2	コミュニケーションにおいて重要なスキルを身につけ、活用することができる。	○	○	○	○	a b	
			Communication Strategy 1	スピーチを読み、自分が興味を持っている人物についてスピーチを作成し、発表する。	○	○	○	○	a b	
	6	6	6	Lesson 3 A Teenager To Change the World	<題材内容> ・ジャックが研究を始めた経緯について理解する。 ・研究におけるジャックの苦労について理解する。 ・ジャックが成功した理由について理解する。 ・世界を変えるために何ができるかについて書く。 <文法事項> 動名詞の意味上の主語, 疑問詞+ do you think + (S') +V?, 未来進行形について理解する。	○		○	○	a b c d
				Communication Tip 3	コミュニケーションにおいて重要なスキルを身につけ、活用することができる。	○	○	○	○	a b
				Lesson 4 Life in a Jar	<題材内容> ・イレーナがユダヤ人のために行ったことを理解する。 ・イレーナが警察につかまってから解放されるまでの経緯を理解する。 ・イレーナの後悔について理解する。 ・自分がイレーナの立場だったらどうするかについて書く。 <文法事項> 完了形の受動態, さまざまな分詞構文について理解する。	○		○	○	a b c d
	7	7	期末 考查	Further Reading 1 Try Brainteasers!	<題材内容> ・川渡しをしている男が出会った難問を理解する。 ・男がどのようにして難問を解いたかを理解する。 ・難問を解く仕組みについて理解する。 ・なぜ誤った思考に陥るのかについて理解する。	○		○	○	a d
				Communication Builder 4	CEFRのA2レベルの4技能統合型テストを行い、自己評価して自身の学習到達度を測る。	○	○	○	○	a b c d
	《課題・提出物等》Communication Activityのwritingおよびワークブックの問題を課題として出す。									
《第1学期の評価方法》										
1 評価対象： a. 授業に対する意欲/b. 発表(内容・態度)/c. 課題等の提出(内容・態度)/d.小テスト・定期考查										
2 評価配分： a. 授業に対する意欲○%/b. 発表○%/c. 課題等の提出○%/d.小テスト・定期考查○%										

学期	月	考查範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
2 学期	9	中間 考查	Lesson 5 Space Debris	<題材内容> ・宇宙ごみとは何かを理解する。 ・宇宙ごみが引き起こす問題を理解する。 ・宇宙ごみ問題の解決のために行われている取り組みについて理解する。 ・宇宙探査に資金を費やすべきかについて議論する。 <文法事項> 接続詞+分詞, 二重否定, 部分否定について理解する。	○		○	○	a b c d
			Listening Skill 5	外来語と英語の発音の違いを判別し、聞き取ることができる。	○		○	○	a d
	10	中間 考查	Lesson 6 Caddy for Life	<題材内容> ・ブルースとワトソンの関係がどのようなものだったかを理解する。 ・ブルースとワトソンの別離と再会について理解する。 ・ブルースの病気と、病気に対してどのように立ち向かったかについて理解する。 ・全米オープンでの2人の様子について理解する。 ・日米での好きなスポーツの違いについて議論する。 <文法事項> 独立分詞構文, 関係副詞の非限定用法について理解する。	○		○	○	a b c d
			Listening Skill 6	英語での数字の読み方を聞き取ることができる。	○		○	○	a d
	11	期 末 考 査	Lesson 7 iPS Cells	<題材内容> ・山中博士がiPS細胞の研究を始めた経緯を理解する。 ・iPS細胞でどのような問題が解決するかを理解する。 ・激化する再生医療分野での競争について理解する。 ・有名な日本人研究者について意見を交換する。 <文法事項> 不定詞の意味上の主語, ifを省略した仮定法, 同格のthatについて理解する。	○		○	○	a b c d
			Listening Skill 7	イントネーションによって意味が異なる英語を理解し、判別ができる。	○		○	○	a d
12	期 末 考 査	Lesson 8 Selective Breeding	<題材内容> ・犬と人間とのかかわりについて理解する。 ・犬の品種改良の利点について理解する。 ・犬の品種改良の欠点について理解する。 ・品種改良の是非について議論する。 <文法事項> 仮定法の慣用表現, 完了形の動名詞, 強調構文について理解する。	○		○	○	a b c d	
		Communication Builder 5	CEFRのB1レベルの4技能統合型テストを行い、自己評価して自身の学習到達度を測る。	○	○	○	○	a b c d	
《課題・提出物等》Communication Activityのwritingおよびワークブックの問題を課題として出す。									
《第2学期の評価方法》									
1 評価対象: a. 授業に対する意欲/b. 発表(内容・態度)/c. 課題等の提出(内容・態度)/d.小テスト・定期考査									
2 評価配分: a. 授業に対する意欲○%/b. 発表○%/c. 課題等の提出○%/d.小テスト・定期考査○%									

学期	月	考查範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法
					①	②	③	④	
3 学 期	1		Lesson 9 The Vancouver Asahi	<題材内容> ・朝日が結成された当時の日系の状況を理解する。 ・チームを立て直すために朝日が行ったことを理解する。 ・朝日のプレーによって何が変わったかについて理解する。 ・戦争によって朝日がどうなったか、戦後どのように評価されたかを理解する。 ・海外出身の選手が直面する問題について議論する。 <文法事項> whatを用いた強調、無生物主語、倒置について理解する。	○		○	○	a b c d
			Lesson 10 Euglena	<題材内容> ・ミドリムシとはどのような生物か、またどのような利用法があるかを理解する。 ・出雲さんがミドリムシ研究を始め、成功するまでの経緯を理解する。 ・現在どのような目的でミドリムシが研究されているかを理解する。 ・日本が温暖化ガスの排出を減らすためにできることについて議論する。 <文法事項> 複合関係詞however, if節に相当する表現、未来完了形について理解する。	○		○	○	
	2		Communication Strategy 2	「日本政府はバイオテクノロジー研究にもっと費用をついやすべきだ」という論題について議論する。	○	○	○	○	a b d
			Further Reading 2 Momo	<題材内容> ・モモとその友人たちの性格や主張について理解する。 ・人々の時間がどのように奪われていったかを理解する。 ・モモと灰色の男たちの攻防について理解する。 ・モモがどのように人々の時間を取り戻したかを理解する。	○		○	○	
	3		Communication Builder 6	CEFRのB1レベルの4技能統合型テストを行い、自己評価して自身の学習到達度を測る。	○	○	○	○	a b c d
			Pleasure Reading A Retrieved Reformation	<題材内容> ・ジミーがエルモアで成功を収め、アナベルと結婚することになった経緯を理解する。 ・金庫に閉じ込められた子どもを助けるために、ベンの前で金庫破りをしたジミーの気持ちを理解する。 ・ジミーを見逃したベン of 気持ちを理解する。	○		○	○	
《課題・提出物等》Communication Activityのwritingおよびワークブックの問題を課題として出す。									
《第3学期の評価方法》									
1 評価対象： a. 授業に対する意欲/b. 発表(内容・態度)/c. 課題等の提出(内容・態度)/d.小テスト・定期考査									
2 評価配分： a. 授業に対する意欲○%/b. 発表○%/c. 課題等の提出○%/d.小テスト・定期考査○%									

教 科 外 国 語

科 目 論 理 ・ 表 現 II

授業科目	論理・表現II	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書	MY WAY Logic and Expression II (三省堂)	副教材			
授業概要	大学入試に必要な文法や表現を理解し、自分の考えや事実を作文したり発表することができる能力を養う。 実用英語技能検定 2級以上の取得を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標	教 材		
1 学 期	L2 The New Wave of Sports L3 The Future of Technology	現在完了、過去完了、来表現などの文法を用いて、様々な場面において会話をしたり、人に尋ねたりすることができる。 スピーキング能力・リスニング能力を鍛える。	MY WAY Logic and Expression II		
	L4 Rediscover Kabuki L5 Will Our Lives Change with AI?	スピーキング能力・リスニング能力を鍛える。 英語検定の取得を目指す。	MY WAY Logic and Expression II		
	L6 Experience L7 Can We Go and Live on Mars?	スピーキング能力を鍛える。 英語検定の取得を目指す。	MY WAY Logic and Expression II		

教 科 英 語 科 目 演 習

授業科目	英語演習	単位数	2単位	履修形態	(選択)
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書	英作文 (入試基本) 英作文 (入試標準)	副教材	英語検定過去問 大学入試過去問		
授業概要	大学入試及び、英語検定対策。				
授業内容	単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	1 学 期	英作文 (入試基本)	大学入試に必要な知識を確認したうえで、語句空所補充、語句整序英作文、条件付き和文英訳の順に、段階を踏んで実力を養う。		英作文 (Z会) 英語検定過去問 大学入試過去問
	2 学 期	英作文 (入試標準)	大学入試に必要な知識を確認したうえで、語句空所補充、語句整序英作文、条件付き和文英訳の順に、段階を踏んで実力を養う。		英作文 (Z会) 英語検定過去問 大学入試過去問
	3 学 期	大学入試対策	大学入試過去問を解き、実力を養う。		英作文 (Z会) 大学入試過去問

教 科 英 語 科 目 英 語 基 礎

授業科目	英語基礎	単位数	2単位	履修形態	(選抜)
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書	大学入試問題演習	副教材	Myon Xreading 英検問題集		
授業概要	大学入試及び、英語検定リーディング対策として多読演習を行う。				
授業内容	単 元	目 標			教 材
おおよび 到達目標	1 学 期	多読（語彙・ 文法・構文の 解説）	<p>毎回英語でニュース記事を3つ読む。</p> <p>読んでみて自分ではわからなかった語彙や文法事項をノートに書き出して整理し要点をまとめる。</p>		入試長文基礎
	2 学 期	多読（語彙・ 文法・構文の 解説）	<p>様々なタイプの英文を読む。</p> <p>読んでみて自分ではわからなかった語彙や文法事項をノートに書き出して整理し辞書をつくる。</p>		
	3 学 期	多読（語彙・ 文法・構文の 解説）	<p>英語検定や各大学の入試問題に取り組む。</p> <p>英語検定目標級の合格を目指す。</p> <p>志望大学合格を目指す。</p>		

教 科 情 報

科 目 未 来 創 造 ゼ ミ (情 報)

授業科目	未来創造ゼミ (情報)	単位数	2 単位	履修形態	必須 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	なし	副教材	未定 (大学入学共通テスト問題集を予定)		
授業概要	限られた時間数なので、大学入学共通テスト対策としての計算問題と基礎知識問題のみ扱う				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	オリエンテーション	大学入学共通テストを念頭に置いた勉強方法の確認		
		デジタルでの表現	2進数、8進数、16進数と10進数の基数変換 ビット数とバイト、文字コード、補助単位の理解		
		IPアドレス	プライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスの確認 サブネット化、CIDR ネットワークアドレスとブロードキャストアドレスの計算問題		
		演算の仕組み	論理和、論理積、否定、と真理値表 論理回路、半加算回路、全加算回路		プリント
		情報社会の問題解決	情報とは、メディアとは、用語理解と練習問題 ブレインストーミング、KJ法、PART図、ガンチャート		YouTube の講座活用
		個人情報と知的財産	個人情報保護法、知的財産権の理解		
		情報モラル	情報の特性理解 サイバー犯罪、不正アクセス禁止法の予想問題 不正ソフトウェアの予想問題 情報モラルについての理解		
		情報技術の役割	電子商取引、VRとAR、Society5.0に関する予想問題		
	2 学 期	データの通信	誤り検出、パリティチェックの計算問題 音のデジタル化、サンプリングと符号化の計算問題 画像のデジタル化、動画のデジタル化、データ量計算		プリント YouTube の講座活用 iPad アプリ iMovie
コンピュータの構成		五大装置、ハードウェア、ソフトウェアの理解 インターフェースの理解 CPUの処理能力の計算問題		iPad アプリ Clips	

		インターネットの仕組み	ネットワークとプロトコルの予想問題 LAN、伝送時間の計算問題 クライアントサーバシステム、ルータ、プロトコルの理解 メールの送受信の予想問題	
		問題解決	データの収集方法に関する予想問題 ヒストグラム、箱ひげ図に関する予想問題 時系列分析、回帰分析の予想問題 モデル化とシミュレーションの理解	
		プログラミング	アルゴリズムの確認 フローチャートとトレースの練習問題	
3 学 期	まとめ	問題演習 情報社会への心構え	プリント	

探究基礎（普通科3年生）

授業科目	探究発展	単位数	2単位	履修形態	必修
履修学年	高校3年	担当教員	杉山智美 小林悠真		
教科書	「探究活動の進め方」マイナビ		副教材	答えのない問題に、答える力が身につく本」マイナビ	
授業概要	実社会や実生活における複雑な文脈のなかに存在する事象を特定の科目に留まらず横断的・総合的に学び、課題に対して最適解や納得解を見いだす。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		備 考
	一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・しかフェス2026企画から運営まで行う。 ・「探究活動の進め方」マイナビ 第1部 	<ul style="list-style-type: none"> ・しかフェス2026の企画運営各チームのリーダーとして（役割）、外部機関との調整や集客戦略の立案に主体的に取り組んだ。具体的な行動を通じて、地域の魅力を発信する実践的な発信力を発揮した。 ・課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 		
	二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究活動の進め方」マイナビ 第2部 	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会や実生活と自らとの関わりから出た問いを、自ら課題を立て情報を集め、整理・分析をして、まとめ・表現できるようにする。 		
	三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究活動の進め方」マイナビ 第3部 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな価値を創造し、より良い社会を実現しようとする態度を養う。「学ぶ意義の理解」「まじめな学習態度」を身につけ、ソーシャルラーニングを中心とした社会人としての特性を形成し、自らの幸福や活躍につなげる。 		